

# 横手FC 全国逃す

無念1敗1分



【予選リーグ・横手FC—山辺中A】前半3分、横手FC・田中（左）が先制のゴールを決める—雄和町・県営トレーニングセンター（カメラ・相原忠明）

◇第8回全日本ユース(U-15)フットサル東北大会(4日・雄和町県営トレーニングセンター) 東北各県代表の6チームが出場。2グループに分かれた予選リーグと、各グループの1位による決勝が行われた。本県代表の横手FCヴィゴレは、予選リーグ1敗1分けと振るわず、全日本大会(1月11—13日・大阪市中央体育館)出場を逃した。

## 全日本ユースU-15 フットサル東北大会

▽予選Aグループ

FCみやぎ (宮城)	14	77	01	1	横手FC
横手FC	6	06	42	6	山辺中A (山形)

初戦のFCみやぎに大敗。そして、決勝、全国への出場が断たれて迎え、ボールを追った。山辺中A戦。それでも、現チームでの最初で最



後の東北大会。そして、3年生とってラストゲーム。「思い出の試合になるように頑張ろう」(高橋博監督)。その思いを胸に横手FCの選手たちは一つになった。

「攻撃の切り替えがうまくいかなかった」(G.K.・高橋尚哉主将)。初戦の大敗から守りを固めた布陣で活路を見いだした山辺中A戦。開始3分、キーパーからのパスを受けたエースストライカー・田中恵介が、個人技で相手を守りし先制。その後もカウンターを武器に、初戦の憂さを晴らすかのように得点。「ボールサイドの裏に入った選手のマークもうまくいった。前線では同点弾を決め、頑張った。理想通りの展開」(高橋監督)。田中の4得点を挙げる活躍などで6-2で前半を折り返した。

しかし後半、疲労の見える始めた横手FCに、予想し得なかった結果が用意されていた。立ち上がりから攻め込まれながらも、高橋直輝が体を張ってシュートを止めると、G.K.・高橋尚哉主将も好セーブを守ったのだが、防戦一方の展開、そして得点を奪えない焦り。残り6分から立て続けにゴールを割られ、終了2

分前には同点弾を決められた。無情にも横手FCに勝利の女神はほほ笑でくれなかった。

「最後は何としてもちたかった」。選手たちはこう語って悔しさをみしめた。だが、こう続けた。「勝ちたい気持ちが引き分けてどまることができた」「このメンバーと一緒に戦えて、当に良かった」「思いきり楽しんでスッキリした」。どん欲に勝利を指した30分間。結果は指されなかったが、横手FCはラストゲームで完燃焼を遂げた。

(椎名 博樹)

### 横手FCヴィゴレ

- |         |         |
|---------|---------|
| ①高橋 尚哉  | ③(横手南中) |
| ②門間 新平  | ②(横手南中) |
| ③高橋 直輝  | ③(横手南中) |
| ④後藤 勇氣  | ①(鳳 中)  |
| ⑤高橋 昂吾  | ②(横手南中) |
| ⑥新田 義樹  | ⑥(栄 小)  |
| ⑦福田 武蔵  | ⑥(朝倉小)  |
| ⑧片桐 創   | ⑥(横手南小) |
| ⑨高橋 雄也  | ③(横手南中) |
| ⑩田中 恵介  | ③(横手南中) |
| ⑪黒沢 将   | ⑥(朝倉小)  |
| ⑫鈴木 翔   | ①(横手南中) |
| ⑬柿崎 岳   | ②(横手南中) |
| ⑭佐藤 駿   | ⑥(浅舞小)  |
| ⑮佐々木 佑太 | ②(横手南中) |

▽予選Aグループ  
FCみやぎ 6(2-1-3) 4 山辺中A  
①FCみやぎ2勝②山辺中A1敗1分け③横手FC1敗1分け  
(2、3位は得失点差)

▽同Bグループ  
一関中 7(4-1-1) 2 FCみやぎ  
(一関中、FCみやぎは全日本大会に出場する)

郡山ザー 20(11-9-3) 4 リベロル  
①一関中2勝②郡山ザール1敗③リベロル津軽2敗

▽決勝  
一関中 14(5-9-0) 1 軽(青森)